

「農業関連資材高騰の影響および対策」（五島市農業振興対策協議会 技術者会）抜粋

農業関連資材高騰の対策について

作物

1) 生産コスト低減対策

(水稲、麦、大豆共通)

- ・ L型肥料（低リン、低カリ肥料で安価）の検討。
- ・ 土壤改良資材の地力に見合った適正施用。
- ・ 緑肥作物（れんげ等）の作付けによる基肥施用量の低減。
- ・ 機械共同利用の推進および既存機械利用組合の連携調整と適正な受委託料金検討。

2) 所得確保対策等

(水稲、麦、大豆共通)

- ・ 水田経営所得安定対策など制度活用推進（集落営農組織への加入）。
- ・ 農地水環境保全向上対策営農活動特別栽培レベル農産物生産技術確立と活用検討

(水稲)

- ・ 高温登熟障害を回避するための田植時期の検討。
- ・ 適正な水管理による品質向上のため、計画的配水の推進。
- ・ 有利販売するための新品種導入普及(にこまるなど)や特別栽培米などへの取り組み検討。

(麦)

- ・ 赤かび病防除の徹底と作業の組織化。
- ・ 有利販売のための五島うどん原料用品種(ミナミノカオリ)の導入検討。

(大豆)

- ・ ハスモンヨトウ・カメムシ類防除の徹底。
- ・ たい肥の利用、緑肥作物（れんげ）作付による地力の向上。
- ・ 大粒大豆を増加させるため中耕培土の徹底。

3) 20年度の具体的な取り組み事項

(水稲、麦、大豆共通)

- ・ 土壤分析に基づく地域別土壤改良資材の適正量の作成と指導。
- ・ 機械利用組合利用料金の検討。

(水稲)

緑肥れんげすきこみ推進と稲わら有効利用チラシの作成と指導。

(大豆)

- ・ 農地水環境保全向上対策の営農活動取組推進。
- ・ 緑肥作物（れんげ）すきこみ推進のチラシ作成と指導。
- ・ 過去の土壤分析結果に基づく、地域別土壤塩基類（養分）の実態把握。

(麦)

- ・ L型肥料を施用できる地域の選定。
- ・ 麦ランク向上のため追肥の推進チラシ作成と指導。

野菜

1) 生産コスト低減対策

(野菜共通)

- ・ 被覆資材等の適正な使用、適正な保管の推進。

(露地野菜)

- ・ 土壌分析実施によりリン・カリが蓄積している圃場については安価型肥料(L型肥料)の検討。
- ・ 堆肥中のN成分の肥効を加味した施肥体系の確立検討。
- ・ 全面全層施肥から畦内全層施肥技術の検討(1割程度の減肥可能)。

(施設野菜)

- ・ 中玉トマトについて無駄な追肥を減らすため、きめ細かい土壌分析を行い、施肥量の低減。
- ・ ハウス内保温対策の徹底(内張材による補強)。
- ・ 4段サーモの活用、設定温度の見直し等従来からの対策の点検。
- ・ ヒートポンプの活用検討。
- ・ 施設園芸省エネルギーチェックシートによる燃油消費の低減。

2) 所得確保対策等

- ・ 単収向上や品質の向上による、販売高の向上。

3) 20年度の具体的な取り組み事項

ブロッコリー、たかな、中玉トマトについて重点的に対策検討する。

- ・ 過去の土壌分析結果の整理。
- ・ 土壌分析の実施(ブロッコリー、たかな、中玉トマト)。
- ・ L型肥料の展示圃設置(ブロッコリー)及びL型肥料の施肥体系の検討。
- ・ 畦内施肥技術の検討。
- ・ 低コスト生産技術についての農家意識の啓発。

果樹(びわ)

1) 生産コスト低減対策

- ・ 多重被覆による断熱、断熱資材(サニークート、エアーマット等)の活用。
- ・ 循環扇、温度センサー適正位置設置による温度の均一化。
- ・ 設定温度を指導上の温度管理の下限に設定。
- ・ 変温管理、4段サーモの活用、ヒートポンプの導入検討。
- ・ 堆肥中のN成分の肥効を加味した施肥体系の確立検討。
- ・ 施設園芸省エネルギーチェックシートによる燃油消費の低減。

2) 所得確保対策等

- ・ 高単価販売を図るため早期着果(花)対策として、夏秋期において遮光によりハウス内部の気温低下の徹底。

- ・ ミツバチ導入による結実促進と出荷時期の前進化。
 - ・ 間縮抜、結果母枝の早期誘引、早期摘房、摘らい実施、低樹高仕立てによる品質単収の向上。
- 3) 20年度の具体的な取り組み事項
- ・ 土壌分析の実施。
 - ・ 現地検討会時に低コスト技術対策の検討及び取組事例の紹介。
 - ・ 新規栽培者への技術支援。

花き（秋ぎく）

- 1) 生産コスト低減対策
- ・ 堆肥の活用。堆肥中のN成分を加味した施肥設計により肥料費の低減。
 - ・ 施設の機密性向上、循環扇の導入。
 - ・ 冬季作型（1～4月出荷）の休止し、無加温作型（6月～9月）への移行。
 - ・ 低温開花性系統（神馬2号・長崎2）およびヒートポンプの導入検討。
 - ・ 施設園芸省エネルギーチェックシートによる燃油の低減。
- 2) 所得確保対策等
- ・ 適正な肥培管理、適期防除、適期作業等による品質向上。
- 3) 20年度の具体的な取り組み事項
- ・ 土壌分析の実施による減肥の検討。
 - ・ 低コスト生産技術についての農家意識の啓発。

茶

- 1) 生産コスト低減対策
- ・ 肥効調節型肥料から一般肥料への施肥体系の推進（分施回数は1回増加する）。
 - ・ 土壌分析を基に圃場別にりん酸・加里質肥料を有効利用する施肥体系の設計推進。
 - ・ 比較的安価である菜種油粕等の有機質肥料利用の検討。
- 2) 所得確保対策等
- ・ 地力が低い茶園の地力向上のため、有機質肥料に加え、良質堆肥の施用を積極的な推進。
 - ・ 販売額向上のため一番茶の品質単収の向上。
- 3) 20年度の具体的な取り組み事項
- ・ 土壌分析（腐植、CECを含む）を行い、リン酸、加里肥料の有効利用。
 - ・ 土壌硬度、仮比重を調査し、土壌物理性が悪化した圃場の改良。

葉たばこ

1) 生産コスト低減対策

- ・ 乾燥に関わる燃料費低減のため、乾燥室内の熱効率改善の検討。
- ・ 安価な被覆資材利用によるコスト削減。
- ・ 簡易土壌分析キットによる土壌分析推進による、適正施肥の徹底。

2) 所得確保対策等

- ・ 土壌病害虫対策（センチュウ、立枯病）として対抗植物（ギニアグラス、ソルゴー、クロタラリア）の作付推進。
- ・ 葉たばこ経営を補完する作物の検討。

3) 20年度の具体的な取り組み事項

- ・ たばこ耕作組合青年部を対象にした簡易土壌分析法研修会の実施。
- ・ 対抗植物（ギニアグラス、ソルゴー、クロタラリア）の展示圃設置（市内5ヶ所）。
- ・ 乾燥室内の熱効率改善機器、資材の検討。

畜産

1) 生産コスト低減対策

(肉用牛)

- ・ 貯蔵飼料（乾草、サイレージ）の増産で作業の集約による、燃料費の削減。
- ・ バヒアグラス等の永年牧草利用を進め、作付に関わる種苗費、燃料費の削減、また放牧を推進し、採草に関わる経費や飼料費の削減を図る。
- ・ 土壌分析による適正施肥並びに適期の作付、混播の実施による年間収量の向上。

2) 所得確保対策等

(肉用牛)

- ・ 計画に基づく指定交配の遵守。
- ・ 子牛飼育こよみ（五島子牛飼育かんどころ）の遵守により、健康で発育性に富む子牛生産。
- ・ 確実な1年1産と子牛発育性向上のため、母牛の分娩前後の栄養管理および発情観察の励行、制限ほ乳、超早期母子分離技術の実施。

(養豚)

- ・ 基本的な衛生対策の遵守と疾病の早期発見、早期治療による事故率低減。
- ・ 豚舎内の換気、防暑、保温等の環境対策による飼料要求率の改善。

3) 20年度の具体的な取り組み事項

(肉用牛)

- ・ 飼料作物の収量や品質の向上のための土壌分析の実施。
- ・ 改訂した子牛飼育こよみの周知。
- ・ 技術対策をまとめたパンフレット配布、指導。
- ・ キャトルセンターの有効利用の推進。

共通

1) 生産コスト低減対策

- ・ 農業機械の保守点検の励行による燃費の向上。

2) 20年度の具体的な取り組み事項

- ・ 各種支援施策の周知と活用。
- ・ 関係機関と連携したコスト低減の推進と土壌分析及び検討。
- ・ 経営分析による個別農家の経営改善指導の強化。

<参考>

燃油・資材等の価格高騰に関わる事業・金融等対策（H20. 9）

1、融資

○農林漁業セーフティネット資金

融資機関：農林漁業金融公庫

貸付対象：農業者や集落営農組織（農業所得が総所得の過半を占めるもの等）

資金用途：経営の安定に必要な長期運転資金

償還期限（据置期間）：10（3）年以内

金利：1. 6%

貸付限度：300万円（一定要件を満たせば、規模に応じ増額可）

○農業近代化資金

融資機関：農協等

貸付対象：農業者、農業法人等

資金用途：長期運転資金等

償還期限：15年以内

金利：1. 8%（認定農業者1. 6～1. 65%）

貸付限度：法人2億円以内、個人1,800万円以内、事業費の8割以内（認定農業者は10割）

○農業近代化資金（農業生産コスト高騰緊急対策）

融資機関：農協等

貸付対象：農業者、農業法人等

資金用途：・省エネルギー施設・資材（ヒートポンプ、循環扇等）

・ 飼料コスト低減施設機械（ハーベスター、飼料粉碎機等）

・ 化学肥料低減のための施設機械（堆肥舎、局所施肥機等）

償還期限：15年以内（うち据置7年以内）

金利：無利子

貸付限度：法人・任意組合3,600万円以内、個人1,800万円以内、事業費の8割以内（認定農業者は10割）

融資期間：平成20年10月～平成22年3月

○農業経営基盤強化資金（スーパーL資金）

融資機関：農協等、農林漁業金融公庫

貸付対象：認定農業者

資金使途：省エネルギー設備等、長期運転資金

償還期限（据置期間）：25年以内

金利：1.6～1.8%

貸付限度：法人5億円以内、個人1億5,000万円以内、

○家畜飼料特別支援資金融通事業（拡充）

四半期を単位として配合飼料価格が分岐点価格47,700円を上回った場合、濃厚飼料購入に関わる資金を融通。

- ・ 融資機関：農協等
- ・ 貸付金利：農業近代化資金の基準金利—1.68%
- ・ 償還期間：10年以内
- ・ 貸付限度額：肥育牛40千円/頭、乳用牛30千円/頭、繁殖雌牛8千円/頭、
豚8千円/頭、鶏40千円/100羽

2、補助事業

（園芸作物）

○強い農業づくり交付金（施設園芸における原油価格高騰への緊急支援）

加温型施設園芸の省エネ対策に資する簡易な装置（2重カーテン、多段サーモスタットの

導入、循環扇の導入等）の設置

補助率：1/2

対象要件：農協、5戸以上の農家組織等。事業費50万円以上。

○園芸ビジョン21パワーアップ対策事業（省エネルギー対策事業）

園芸用ハウスの省エネ対策に資する簡易な装置（2重カーテン、多段サーモスタットの

導入、循環扇の導入等）の設置

- ・ 補助率：1/3
- ・ 対象要件：受益者はすべて認定農業者で3戸以上、事業費50万円以上。

○省石油型加温施設導入緊急対策事業（県単新規）

園芸用ハウスの省エネルギーに向けたヒートポンプの導入

- ・ 補助率：1/2
- ・ 対象要件：受益者はすべて認定農業者で3戸以上。導入するハウスは被覆の多層化、循環扇の設置等省エネ対策を実施していること。

（畜産）

○肉用子牛資質向上緊急支援事業(新規)

優良種雄牛精液の人工授精の取り組みおよび雌牛更新の取り組み支援

- ・ 支援交付額：販売子牛の価格が発動基準（40万円以下または県平均価格のいずれか）を下回る場合、価格に応じ1～3万円助成。雌牛更新5万円（外部導入のみ）。

○肥育牛経営緊急支援特別対策事業（新規）

配合飼料使用量の低減の取り組みを行う生産者への支援

- ・ 補助額：出荷 1 頭当り 5,000 円
- ・ 対象要件：配合飼料価格安定制度の加入者。出荷月齢の早期化取り組み。

○ 肉用牛生産性向上緊急対策事業（新規）

雌牛の繁殖性向上や肉用牛の事故率低減のための器具機材の整備

- ・ 補助率：1 / 2
- ・ 対象要件：農協、3 戸以上の農業者が構成する生産者集団。

○ 畜産経営生産性向上支援リース事業（新規）

事業実施主体が畜産農家に対し生産性向上に資する農機具（貸付対象機械）について取得価格の2 / 3でリース。

- ・ 借受者：認定農業者および2 戸以上の農業者集団

3、その他

○ 軽油引取り税の免税制度について

軽油を燃料とするトラクター、コンバイン等を農作業に使用する場合、所定の申請を行うことで、軽油引取税(32.1 円/L)を免税することが出来る。

申請先：五島地方局税務課

必要書類：免税軽油使用者証交付申請書、農業委員会が発行する耕作面積証明書等

適用外：耕うんのみ等の部分作業受託の場合や使用者証に記載のない機械に免税軽油を使用した場合など。